



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成25年1月～3月)

○「平成24年度野幌報徳社冬季研修会」
主催 野幌報徳社・江別報徳会
とき 平成25年1月15日
テーマ 留岡幸助の本道における報徳思想とキリスト教精神の実践
講演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「JAとまこまい広域 フロンティア塾」
主催 苫小牧広域農業協同組合
とき 平成25年1月15日
テーマ 10年後を見据えたJAとまこまい広域管内農

業のあるべき姿
講演 正木 卓
(当研究所・専任研究員)

○「平成24年度千歳地区担い手受入れ・指導農家研修会」
主催 千歳地区担い手受入れ・指導農家協議会・道央農業協同組合千歳支店
とき 平成25年1月17日
テーマ 都市近郊農業の展開方向と課題
講演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「平成24年度全道農業者年金推進大会」
主催 北海道農業会議
とき 平成25年1月23日
テーマ T P P 参加問題の現段階
講演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)

○「平成24年度道央地区地域づくり活性化協議会研修会」
主催 道央地区地域づくり活性化協議会・道央農業協同組合江別支店
とき 平成25年1月23日
テーマ 石狩圏農業の特質と発展の方向性

講演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「岩見沢市議会議員会研修会」
主催 岩見沢市議会議員会
とき 平成25年2月1日
テーマ 市場経済グローバルイズムと食料・農業―北海道農業の位置づけ―
講演 黒河 功
(当研究所・所長)

○「第99回村づくり・人づくり報徳研修会」
主催 北海道報徳社
とき 平成25年2月1日
テーマ 二宮尊徳の実像と業績の現代的解釈
講演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「宗谷地域6次産業化推進セミナー」
主催 一般社団法人北海道地域農業研究所・北海道農政部・宗谷振興局
とき 平成25年2月5日
テーマ 宗谷地域における農業6次産業化の推進について
コーディネイター 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「平成24年度士別市農業講演会」
主催 士別市
とき 平成25年2月12日
テーマ 許すなT P P、どうなる新政権の農政
講演 入江 千晴
(当研究所・常務理事)

○「渡島・桧山地域6次産業化推進セミナー」
主催 一般社団法人北海道地域農業研究所・北海道農政部・渡島総合振興総合振興局
とき 平成25年2月14日
テーマ 渡島・桧山地域における6次産業化の推進について
コーディネイター 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「平成23年度JA研究助成対象報告会」
主催 社団法人J C 総研
とき 平成25年2月26日
テーマ 北海道における中山間地野菜産地形成と土地利用型農業の再構築
講演 正木 卓
(当研究所・専任研究員)

○「平成24年度空知南西部地区農業者
・指導農業者研修会」

主催 空知南西部地区農業者・指
導農業者協議会

と き 平成25年3月1日

テーマ 空知南西部農業の展開方向
と課題

講演 黒澤 不二男

(当研究所・特別参与)

○「平成24年度石狩女性農業者講座」

主催 財団法人道央農業振興公社
テーマ これからの地域づくりと女
性を変える地域と農村

と き 平成25年3月6日

講演 黒澤 不二男
(当研究所・特別参与)

○「平成24年度蘭越町農業研修会」

主催 蘭越町産業課
と き 平成25年3月7日

テーマ TPPと北海道農業

講演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)

○「平成24年度旭川農村婦人大学終了
式」

主催 旭川市農政部
と き 平成25年3月26日

テーマ 旭川農村婦人大学の20年
講演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)

『 新北海道農業発達史』の発刊・販売について

当研究所は、平成25年3月に『新北海道農業発達史』の発刊をいたしました。

かつて本道開拓以来の農業展開については、名著「北海道農業発達史」(北海道総合経済研究所発行)が広く知られておりますが、それは1960年代までの内容であり、1961年に制定された農業基本法から最近までの本道農業展開に関する記述はないままにありました。そこで、平成21年1月に各分野の専門研究者が集い「北海道ベクトル研究会」を立ち上げ、1960年以降の北海道農業の歴史を整理し編纂に取り組んできました。

出版物の内容は、稲作・畑作・園芸・酪農・肉牛・肉豚・馬産の項目で、A4サイズ、691ページです。

『新北海道農業発達史』の発刊は、当研究所公益目的事業の中の自主研究事業の一つに位置付けており、日頃よりご支援をいただいている当研究所会員の皆様には無償にて配付いたしました。

なお、会員以外の皆様には1冊5,000円(税込・送料込み)で販売しております。

購入を希望の方は、冊数に限りがございますので、お早めにFAX・Eメールにてお申し込み願います。

<申 込 先> FAX 011-852-6663

E-Mail office47@chiikinouken.or.jp

<お問い合わせ> TEL 011-859-6010

人事異動

△退任▽

研究部長 遠藤 卓也(1月31日付)
特別研究員 米田 秀雄(1月31日付)

※ホクレンへ
※ホクレンへ

△新任▽

総務部長 長畑 修平(3月1日付)

△昇格▽

研究部次長 鷹田 秀一(2月1日付)

※前 特別研究員

DATA FILE

関連事項/DATA

ホクレン農業協同組合連合会
〒060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目
☎ 011(232)6236

一般社団法人北海道食品産業協議会
〒060-0042
札幌市中央区大通西8丁目
北大通ビル5階
☎ 011(241)6441
FAX 011(241)6730

奈井江町役場
〒079-0392
空知郡奈井江町字奈井江1番地
☎ 0125(65)2111
FAX 0125(65)2809

新砂川農業協同組合
〒073-0131
砂川市東1条南1丁目1番20号
☎ 0125(54)3181
FAX 0125(52)9337

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒062-0041
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号
☎ 011(859)6010
FAX 011(852)6663
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

◆ 編集後記 ◆

●25年度春号の会報をお届けします。

待ちに待った春だ。

最近自然の恐ろしさに驚愕している。自然には尊敬と畏敬の念を持って対応しなければならぬ。その中で私たちは生かされていく。

●安倍内閣による経済政策で円安、株高が進み景気は回復傾向。しかし、T P P 参加問題は危険

な方向に向かっている。経済効果ではマイナスが三兆円、プラスが三・二兆円。三兆円マイナスは正しいと考えるがプラスは来年の消費税値上げや、電力料金、商品の値上げなどで消されてしまう。生産者、消費者に恩恵はない。

●『特集』で北海道米を取り上げた。一朝一夕で今が完成したわけではない。

産官学の力である。本当の仕事を教えられた。今日も道産米うまい。

●「新北海道農業発達史」が多くの関係者の力で発刊された。歴史は未来への羅針盤である。一読願いたい。

●当研究所自主研究課題として引き続き「日本の食料の将来」を取り上げる。会員への政策提言の糧となるよう努力したい。

●プロ野球が始まった。日本ハムの勝利を道民は待っている。

「11」大谷君がんばれ!

(小林 久人)